

# 花どけい

'08/12/15 No.52



## 主な内容

- ☆ 『毎日介護賞』奨励賞受賞
- ☆ 書籍『市民出資の福祉マンション』出版
- ☆ 「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」竣工一周年
- ☆ サンフランシスコ研修報告



## NPO法人ぐるーぷ藤

〒251-0004 藤沢市藤が岡1-4-2  
TEL 0466-24-3100  
FAX 0466-24-7100

E-mail: [npo-fuji@cityfujisawa.ne.jp](mailto:npo-fuji@cityfujisawa.ne.jp)  
<http://www.npo-fuji.com/>

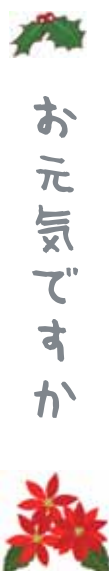
居宅介護支援事業  
訪問介護事業  
訪問看護事業  
療養通所事業  
小規模多機能型居宅介護事業  
障害者グループホーム  
高齢者住宅  
ボランティア活動  
レストラン

ぐるーぷ藤ケアマネジメント  
ぐるーぷ藤ホームヘルプ  
訪問看護ぐるーぷ藤  
デイハウズれんげ草  
ぐるーぷ藤しがらきの湯  
藤が岡の家  
ぐるーぷ藤一番館  
ボランティアすみれ  
OHANA(オハナ)

通所介護事業 デイハウス藤の花  
〒251-0045 藤沢市辻堂東海岸1-7-28  
TEL 35-5600 FAX 35-5800

通所介護事業 デイハウス菜の花  
〒251-0037 藤沢市鵠沼海岸2-9-11  
TEL 35-7330 FAX 35-7330

発行責任者：鷺尾 公子



## お元気でですか

理事長 鷺尾 公子

2008年も師走を迎えました。今年は暖冬?それとも寒い冬?もつとどちらでもいいわ!思わずそう言いたいほど近頃の気象は定まりません。自分の身体は自分で管理していきましよう。まずはバランスの良い食事を心がけましよう。空気が乾燥するこれからはインフルエンザ、ノロウイルスなどにも注意を払いましよう。基本はやはり手洗いとうがいです。でも寒いからといって閉じこもるのではなく、機会を見て冷たい空気にも触れ、前向きに冬を楽しみたいものです。

おかげさまで先日「ぐるーぶ藤一番館」の一周年記念パーティを無事終えることができました。大勢の応援団が駆けつけてくださり、「オハナ」で手作りのオードブルを前に乾杯をしました。心のこもった祝辞を頂きながらこの一年間が走馬灯のように頭の中を駆け巡り、本当に私たちの夢が実現した実感が沸きあがってきました。「一番館」の駐車場を利用したのバザーや模擬店も、子どもからお年寄りまでご近所の方々の参加で賑わいました。私たちが長い間思い描いてきた光景がそこにもありました。包括支援センターや民生委員さ

んとの連携により、藤が岡地域における福祉の駆け込み寺としての役割も少しずつ定着してきました。

また、一周年記念に合わせて、NPO法人ぐるーぶ藤の挑戦「市民出資の福祉マンション」を出版いたしました。

資産を一銭も持たなかったNPOが理念をもとに突き進み、地域の方々の様々な応援を受け夢を実現することができたこれまでの活動を、市民事業の一つの到達点としてまとめたいと考えていました。一方、この一年間に、北海道から四国・九州まで多くの方々が見学に見えました。皆さん共生の住まい方に関心を持たれ建物の見学を希望されますが、ここは生活の場ですので、曜日と時間を限定して受け入れさせていただいております。その限られた時間内では17年間の活動の積み重ねを伝えることが難しく、歯がゆい思いもしております。私たちは、今までの活動の積み重ねがあつて「一番館」のおもてなしができていると考えています。そのような幾つかの理由で今回出版を決意いたしました。本の装丁をグッドデザインカンパニーの水野学氏に、解説文を日本経済新聞社の浅川澄一氏にご協力いただきました。

先日毎日新聞社より、介護の現場で顕著な

活動をしている団体として「ぐるーぶ藤」が「毎日介護奨励賞」を受賞いたしました。表彰式の挨拶の中で「健康で生きがいを持つ社会としての地域作りが大切、この賞は地域福祉の全国モデル、創意工夫と公共性に富む団体に贈られる」等の話があり、一層の活動を期待しての奨励賞ですと話されました。私たちが目指してきた福祉の街づくりが認められ、複合型住まいの「福祉マンション」が評価されましたことは、今までの方向性が間違っていなかった事の確認と私たちの活動を全国に発信できた喜びでもありました。今後は二番館の開設に向け住まう人も働く人も、市民が主役になる街づくりをさらに進めて行きたいと思っています。

今年もリーダー研修の一環としてサンフランシスコ『高齢者ケアとホスピスケア研修』へ参加しました。ここ何年も北欧研修でしたので、そのあまりの違いに驚きました。公的保険が整備されていないため、救急車を呼ぶと20万円、入院費一日10万円、個人で保険に入れない人は医療も受けられない…。アメリカのようにはなりたくありませんが、日本の医療もこれでいいのか、と考えさせられた研修でした。

■ 「毎日介護賞」奨励賞を受賞!! 全国で101件の推薦の中から選ばれました

理念実る「福祉マンション」



11月7日毎日新聞より



11月6日表彰式



「2008年毎日介護賞」（毎日新聞社主催、厚生労働省、日本医師会、日本看護協会、ぼけ防止協会後援、アフラック協賛）には、毎日介護賞に2団体、アフラック賞に1団体、特別賞に2団体、奨励賞に1団体が選ばれました。

■ 毎日介護賞とは

創意工夫と公共性に富んだ活動で介護に取り組む方々を励まし、共に豊かな地域社会の建設を目指したいとの趣旨で設立されました。

選考対象・・・介護に携わる団体、グループ、個人。

- 選考基準・・・
- (1) 地域事業に合った活動で、住民の理解や支持を得ている。
  - (2) 創意工夫を凝らし、他グループの参考になるユニークな活動。
  - (3) 自主的な活動で、継続している。・・・など。

■ 書籍「市民出資の福祉マンション」を出版 「藤」の17年の歩みをまとめました



発行：CLC / 発売：筒井書房

日本経済新聞編集委員 浅川澄一氏 推薦

この組織の運営者は、かつて「普通の主婦」といわれていた地域の女性たちである。福祉の主役であり専門家の社会福祉法人ではない。福祉の業界とは無縁の素人集団であったからこそ、福祉の最先端をゆく事業に挑み、実現させることができたのではないだろうか。「革命」といわれる歴史の転換点では常にこのパラドックス（逆説）が起きる。既存の価値観がひっくり返るのだ。（中略）資金調達法も仲間や地域からの借金。地域で十分な信頼があるからこそ、担保もなく多額の建設資金を調達できた。いわば、住民運動が福祉施設を呼び込んだと言えよう。「住民の住民による住民のための」運動が、画期的な施設を生み出したのである。

- 本の購入をご希望の方は、ご連絡ください。一冊1,470円（送料別途実費）「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」の窓口でも販売しております。





# 「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」竣工一周年

お世話になった関係者、及び地域の皆さまに感謝をこめて、10月25日に一周年記念行事を開催いたしました。

## 木村千尋先生記念講演

「ぐるーぷ藤」のスタッフ向けの記念講演の講師として、木村千尋先生をお迎えし、「おもてなしの心」についてお話いただきました。



木村先生は「ぐるーぷ藤」の想いと夢に共感し、「一番館」のカラーコーディネートをボランティアで担当して下さいました。



### “おもてなしの心”とは…

- ①相手をよく理解すること
  - ②判断をすばやくし、限られた時間を有効に使うこと
  - ③親愛の情、尊敬する気持ちを持つこと
  - ④親切にすること
  - ⑤日本ならではの四季を折り込んでふるまうこと
  - ⑥持っている機能を使っていただくこと
  - ⑦触れること、表情、声などの距離感を大切にすること
  - ⑧心と身体の準備をし、エシガントにふるまうこと
- ☆「ぐるーぷ藤」には、上記の「おもてなし」に加えて「見守るサービス」を付加した“突極のサービス”を期待しています。とのことでした。

### 食の5色(食材の配色)

赤・黄・緑・白・黒の5色の食材の存在を心がけることで食欲もわき、かつバランスの良い食事になります。



### 色使いのPoint

洋服やお化粧の色など日常生活に取りいれてみては？

#### オレンジ

唾液の分泌を促す。照明やテーブルクロスに。

#### イエロー

注意を喚起する。色弱の方もよく見える色。

#### ピンク

呼吸が深くなる。β-エンドルフィンの分泌を促しお肌にもよい。

#### ラベンダー

治癒力を助ける。パジャマの色に良い。

#### レッド

血流の流れをよくする。下着の色にも挑戦！？



～竣工一周年記念パーティー～

レストランOHANA(オハナ)の料理を  
ご堪能いただきました。



バザー・模擬店



う～ん。どれにしようかな～。



「見るだけでも楽しいねー。」 「エッ、買って買って！」



お赤飯、豚汁、お汁粉 お味はいかがでしょう？

よ～くねらって・・・  
「しがらきの湯」特製の輪投げに  
はまっちゃったよー！



バザーの収益は、“スタッフの元気の素”に使わせていただきます。  
ありがとうございました。



## サンフランシスコ研修報告

松岡薫

去る9月14日から20日にかけて5日間の海外研修に行っていました。今回は例年の北欧ではなく、アメリカのカリフォルニア州サンフランシスコ周辺での施設見学ということで、鷲尾理事長とともに自由の国の福祉の一端を見てまいりました。

サンフランシスコは有名なシユワルツネッター氏が州知事を務めるカリフォルニア州の南端にある市で、近くにシリコンバレー、スタンフォード大学があるため若い人が多く、移民の国アメリカの中でも外国人が多い街です。したがって訪ねた施設で働いているケアギバー（介護職）も、アジア系の特にインド、中国、フィリピンの人たちが多かったのが印象的でした。

私たちが見学したのは5か所の高齢者ホームと配食サービスを行っているNPO、地域の相談窓口にもなっているデイケア、そしてがん患者のホスピスおよびエイズホスピスです。ここで、アメリカの高齢者の住まい方について学びました。

まずほとんどの人は自宅で暮らしています。有料の入居の施設には、大きく分けて4つのタイプのホームがあります。

①健康な人対象の有料ホーム、インディペンデントリビング  
②生活援助付きで認知症専門のところもあるアシステッドリビング  
③健康な時から要介護状態までの終身施設CCC  
④介護専用施設であるナーシングホームです。CCC以外は介護が必要になると、また認知症になるとその専門のホームに移らなくてはなりません。私たちが見学した数か所の施設は、入居金が数百万円



服部万里子先生とごいっしょに

から七千万円で、利用額月額はほとんど百数十万円と高額で、入居者は白人がほとんどでした。

しかしながらその一方で配食のNPOでは低所得者層の外出不い必要介護者に、市の補助金と寄付金で毎日2食を1食30セントで配達していました。パンとサラダ以外は冷凍で配達されるそうですが、配達は安否確認を含め、ボランティアと職員がチームで行っているとのことでした。

今回は見学しませんでした。低所得者層の入居施設にはメデイケイド（生活保護のようなもの）利用のホームがあるとのことでした。

アメリカには、いわゆる公的健康保険や介護保険がなく、人々は自己責任において人生を設計し、その一方で寄付の文化が発達しており何億という金額が一晩のパーティーで集まり、ホスピスや福祉施設の運営費に充てられるといえます。

多種多様な人種と様々な宗教が存在する広大な格差の国に、日本とは全く異なった福祉の在り方を見た思いでした。



# 新入会員紹介

2007年11月から12月までに  
入会された7名の方々です

よろしくお願いいたします。



## ■11月入会 野中 智子

私が「藤」に入会して、はや1年が経とうとしています。きっかけは友人の紹介。「家から近いし、仕事（厨房）も家での食事作りの延長かな・・・」と甘い考えでスタート。入居の方が少なかった頃を懐かしく思いつつ、今では30数名分の食事作り・・・。正直大変です（汗）。それでも楽しく仕事ができるのは、厨房の仲間がいるから。

これからも、最高の仲間と最高の仕事を目指します！！



## ■12月入会 前川 恵理子

友人の紹介で「藤」に入会し、1年になります。

お気楽専業主婦にとっぷり浸っていた私に、福祉施設での仕事が勤まるのか不安でしたが、皆さんとても優しく、和気あいあいとしていて、すうっと溶け込むことができました。厨房という狭い空間の中にも色々な発見があり、日々勉強をさせていただきながら楽しく働いております。

今後も皆さんに楽しく食事をしていただけるよう頑張りたいと思います。

## ■11月入会 久保木 由美子

まったく経験のない私が、介護にかかわる仕事を始めて1年。配膳を担当させていただいております。

ヘルパー資格を持ちあわせていない自分には、お手伝いする範囲に限りがありますが、ご利用者の皆さまに少しでもお役に立てればと、努力してまいりたいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。



## ■12月入会 林 ひろみ

息子が通う「どんぐり園」の園長先生の紹介で「ぐるーぷ藤」の受付をしております。

7年振りの仕事で、最初はかなり緊張しましたが、ご利用者の楽しそうな笑い声や子供たちの元気な声に、和ませてもらってます。

受付として、電話の対応やご利用者やご家族の方等、「藤」を訪れる人々を温かく迎えるために、いつも笑顔で心のこもった対応ができるように心掛けていきたいと思っています。

## ■11月入会 吉岡 裕紀子

藤会員のお仲間入りをして早いもので1年になります。今は肩の力も抜け、ご利用者の方々の個性も知り、相手に合わせた会話を楽しみ、少し皆さま方との距離が短くなったような気がいたします。配膳のお仕事為主で、短い時間ですが、何事にも常に情を持って接したいと思っております。お礼の言葉や笑顔を頂くと、とても嬉しく反対に元気づけられます。人生の先輩方と接する時をこれからも頑張りたいと思います。

## ■12月入会 伊藤 順子

昨年の12月に入会させていただきました。ブランクが長く、長時間の看護師の仕事に自信がなかったので、半年程、受付をさせていただきました。元気いっぱい働くスタッフをみているうちに、うらやましくなって、体を動かして仕事をしたくなり、看護の仕事させていただくようになりました。

笑顔を忘れないよう、がんばります。

よろしくお願いいたします。

## ■11月入会 栃尾 ちづ子

自分自身の親の介護に役に立てばと受講したヘルパー講習でしたが、Yさんのピンチヒッターとして「藤」に入会して役立ちました。

先輩方のご利用者への接し方など参考になり、体験できる場とよき仲間を与えてくださった「藤」に感謝！



## ○ 「ぐるーぷ藤」三つ折パンフレットができました

デザインは、気鋭のアートディレクター・水野学氏のご好意によるものです。



## ○ 「ボランティアすみれ」

- 知的障害者の父母の会としてスタートした社会福祉法人藤沢育成会が設立30年を迎え、11月22日、慶応義塾大学湘南藤沢キャンパスにて盛大に記念式典が行われました。「ボランティアすみれ」は、「湘南あおぞら」での着実なボランティア活動に対して感謝状をいただきました。
- 昨年好評だった「傾聴講座」を下記の日程で行います。  
日時：3月21日（土）、28日（土）、29日（日） 10:00～15:00  
場所：「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」  
講師：阿部 正昭 氏、板倉 哲 氏

## ○ イラストレーター・川村コウイチ氏による表紙の花の絵

イラストレーター・川村コウイチ氏（右：自画像）には、「花どけい」No.39より表紙の花の絵を描いていただいています。今号の紙面カラー化に伴い、花の絵の色づけもお願いしました。華やかな寒ぼたんですね。



川村コウイチ氏 プロフィール（ご本人より）

38東京生 横浜在住 東京芸術大学美術学部工芸科卒 広告会社・博報堂に5年間勤務。新聞・雑誌広告などの企画、デザイン表現を行いました。退社後37年間、フリーランスグラフィックデザイナー、イラストレーターとして仕事を続けています。近年、個人の方からご家族、友人、ペットとのかかわりを描く仕事をお受けする機会が多くなり、プレゼントとして大変ご好評をいただいております。

## ○ 無料税務相談の日程

今村税理士による税務相談です。予約制となります。

12月24日（水）、1月22日（木）、2月20日（金）、3月24日（火）

14:00～16:00

⇒ 申込先：24-3100 小野まで

### 編集後記

待ちました！カラー化実現！！

発行にあたり、有限会社アートスペース  
横田秩子氏にご協力いただきました。



（小野淑・上原・土屋順・戸田・橋本・長谷川・村田）

## NPO法人ぐるーぷ藤

◎◎ お気軽にお電話ください ◎◎

受付時間：9:00～18:00

電話：24-3100

時間外（18:00～翌日9:00）の場合は、  
090-7015-7062 までお問い合わせください。

この「花どけい」は、NHK 歳末たすけあいの配分金により作成しています。